

1999年に発表された書籍・論文

浅谷真弓、「スカリジェとドービニャック」、『中大仏文研究』（中央大学）、31号、1999年3月、pp.1~18

ISHIBASHI Masatake, Querelle de la danse Histoire panoramique du mouvement corporel, IN Cahiers d'études françaises Université Keio, 4号、1999年12月、pp.12-25

伊藤誠宏、「«L'Astrée (第1部)»における名詞の性(genre)について -affaire, erreur, reproche」、『仏語・仏文学』（関西大学）、26号、1999年2月、pp.1~19

江口修、「リズム論(3の1) フランスルネサンス詩再々読のために」、『小樽商科大学 人文研究』、97号、1999年3月、pp.29~43

延味能都、「ロンサールにおけるnerfについて -dessus (sus) les nerfs de ma lyre -」、『独仏文学研究』（岡山大学）、18号、1999.3、pp.1-11

大久保康明、「モンテーニュにおける作品の「心内表象」をめぐって」、『東京都立大学 人文学報 フランス文学』、304号、1999年3月、pp.115~131

荻野安奈、「「第2之書パンタグリユエル」第16章試訳、あるいは作品の「へそ」について」、『芸文研究』（慶応大学）、77号、1999年12月、pp.96-108

Hozumi ORII, Trois figures anamorphotiques de l'appareil génitaal dans le *Tiers Livre* de Rabelais, 『仏文研究』（京都大学）、30号、1999年9月、pp.19~37

加藤徳夫、「フランスにおけるソネの詩的創造についての一考察」、『明治大学 文学研究論集』、10号、1999年2月、pp.53~64

木ノ脇悦郎、「エラスムスのEpicvrevs(1533)について(翻訳)」、『関西大学 神学研究』、46号、1999年3月

Hope GLIDDEN, Digression, diversion, et allusion dans l'œuvres de Rabelais, 『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.83~96

黒澤恵美子、「フランソワ1世と「無知」」、『明治大学 文学研究論集』、10号、1999年2月、pp.75~91

Jun KOITABASHI, Le charme de la vieillesse dans les *Propos rustiques*, 『フランス文学研究』（東北大学）、19号、1999年、pp.1~10

Tom CONLEY, Sur une veine de voyage: Montaigne cartographe, 『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.111~126

齊藤広信、「イタリア庭園とモンテーニュ」、『日本女子大学紀要 人間社会学部』、9号、1999年3月、pp.97~114

佐藤正樹、「語り手の奪冠：『第2之書パンタグリユエル物語』における語りの仕掛け」、『フランス文学語学研究』（早稲田大学）、18号、1999年1月、pp.75~85

アンドレ・シャステル、小島久和訳、高山宏解題、『ルネサンスの危機 1520-1600年』、平凡社、1999年3月

Susan K. Silver、Le discours privé du boucher: le conte 34 de l'*Heptaméron* et la détente comique、『ロンサル研究』(日本ロンサル学会)、12号、1999年5月、pp.97~109

菅波和子、「ルイズ・ラベ『作品集』の「献呈の辞」について」、『国際関係研究(国際文化編)』(日本大学)、20巻1号、1999年7月、pp.131-145

菅波和子、「ルイズ・ラベの散文物語『痴愚女神と愛の神の諍い』」、『国際関係研究(国際文化編)』(日本大学)、20巻2号、1999年12月、pp.153-177

鈴木教司、「フランス売官制の消長(14) 司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、25巻-3、1999年1月、pp.1~30

鈴木教司、「ヴァロワ期パリ高等法院の社会経済面と司法運用(4) 売官制との関連(1の4)」、『愛媛大学 法文学論集 総合政策学科編』、6号、1999年2月、pp.1~26

鈴木教司、「フランス売官制の消長(15) 司法官職を中心にして」、『愛媛法学会雑誌』、25巻-4、1999年3月、pp.1~18

鈴木教司、「パリ高等法院記録集について」、『愛媛法学会雑誌』、26巻-1、1999年8月

鈴木教司、「ヴァロワ期パリ高等法院の社会経済面と司法運用(5、完) 売官制との関連(1の5)」、『愛媛大学 法文学論集 総合政策学科編』、7号、1999年9月、pp.1~29

高瀬英彦、「『ガルガンチュワ・パンタグリユエル物語』の「笑い」と「自由」について」、『大阪樟蔭女子大学 論集』、36号、1999年3月

高澤紀恵、「近隣関係・都市・王権16-18世紀パリ」、『世界歴史16』、1999年10月、pp.171-194

田桐正彦、「ノストラダムス信仰の起源 — 予言者の権威はいかにして形成されたか」、『女子美術大学 紀要』、29号、1999年3月、pp.109-119

筒井伸保、Est-ce que Montaigne est un philosophe?、『フランス文化研究』(独協大学)、30号、1999年3月、pp.143~153

マレ・ティエリ、「ダヴィデとフランソワ — クレマン・マロによる『30詩篇』の献辞について」、『学習院大学 研究年報』、45号、1999年3月、pp.201-237

徳永雅、「モンテーニュとソクラテス問題」、『神戸海星女子学院大学・短期大学研究紀要』、38号、1999年12月、pp.271-286

永井敦子、「16世紀ルーアンにおける総行列」、『北海道大学 西洋史論集』、2号、1999年3月、pp.30~51

中川誠、「モンテーニュ再考 — ルネサンス人の生と死—」、『東京成徳大学 研究紀要』、6号、1999年3月、pp.1-27

中道政昭、「カルヴァンの「政治的統治」をめぐって」、『神戸松蔭女子学院大学 キリスト教論藻』、31号、1999年3月、pp.17-32

- 西村美穂、「ラブレの Erasmus への思い」、『明治大学 文学研究論集』、10号、1999年2月、pp.65~73
- 西村美穂、「グローバルな世界認識：『ガルガンチュワ物語』の登場人物たち」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.1~12
- M. ミッシェル・ノストラダムス、高田勇・伊藤進編訳、『ノストラダムス予言集 P.ブランダムール校訂』、岩波書店、1999年7月
- 長谷川輝夫、「書物の普及と王権・教会 -近世フランスの場合-」、『ソフィア』（上智大学）、48巻3号、1999年10月、pp.77-89
- Nerina Clerici BALMAS、Le souvenir de Ronsard dans les œuvres de Brantôme、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.71~81
- 平野隆文、「ヨーハン・ヴァイヤー：魔女学の論理から文学へ」、『フランス文学論集』（青山学院大学）、8号、1999年、pp.53~124
- 平野隆文、「悪魔のいるルネサンス 19~21」、『ふらんす』（白水社）、1999年1~3月号、pp.82~85; 2月号pp.84~87; 3月号pp.84~87
- Jean BRAYBROOK、Identité et création dans *La Franciade* de Ronsard、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.47~69
- Yvonne BELLENGER、Les dévoiements du pétrarquisme chez les poètes français、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.27~46
- 保苅瑞穂、「モンテーニュとポン＝ヌフ -研究余談-」、『フランス語フランス文化研究』（独協大学）、1999年3月、pp.57~63
- 堀内ゆかり、「マルグリット・ド・ナヴァールの「世俗劇」 -アレゴリーを越えて-」、『ロンサール研究』（日本ロンサール学会）、12号、1999年5月、pp.13~26
- 堀越宏一、「製鉄業における中世から近世への転換 -15世紀・16世紀前半のローヌ地方における間接製鉄法の登場と製鉄経営-（後編）」、『東洋大学 文学部紀要 史学科篇』、52集24号、1999年3月、pp.29~56
- 丸橋唯郎、「カルヴァンの世俗的統治論 -「学校化」論との類似性について」、『文京女子短期大学 英語英文学科紀要』、32号、1999年12月、pp.129-140
- オリヴィエ・ミエ、「カルヴァンとその時代の文化」（講演）、『関西学院大学 社会学部紀要』、82号、1999年3月、pp.15~23
- オリヴィエ・ミエ、「ジャン・カルヴァン、クレマン・マロと『ユグノー詩篇歌』」、『関西学院大学 社会学部紀要』、82号、1999年3月、pp.39~45
- 和田光司、「「1572年の規約」について サン・バルテルミー直後のフランス、プロテスタントの断面（上）」、『論叢』（聖学院大学）、12-1号、1999年9月、pp.163-176
- 渡辺誠一、「比較文化論 -日本とフランスに於けるルネサンス」、『明治大学人文科学研究所紀要』、45冊、1999年3月、pp.309-321